

交 通

1	沿	革	405		
2	軌	道	事	業	406
3	經	營	狀	況	408
4	職	員	數	409	
5	施	設	409		

1 沿 革

熊本市の交通事業は、市電が大正13年8月1日、市バスが昭和2年11月23日から営業を開始し、以来、熊本市勢の発展とともに市内の主要交通機関として年々路線を拡大してきた。

しかし、昭和30年代の後半になると、社会経済情勢の変化やモータリゼーションの進展等によって利用者が急激に減少し、経営は悪化の一途をたどり、ワンマン化等の効率化を積極的に進めたものの抜本的改革には至らず、特に市電は4つの路線を廃止せざるを得なくなった。

昭和48年度から昭和62年度までの15年間は、国の財政再建団体の指定を受け、国及び一般会計からの援助を受けつつ経営基盤の確立を図った。この間、2度にわたるオイルショックにより省エネルギーの機運が高まり、市電は無公害・省エネルギーの交通機関として見直され、車両冷房化等のサービス向上策を併せて講じることにより、一時落ち込んだ乗客も回復基調に転じた。またバスについても、車両の冷房化や路線再編成等の乗客サービスの向上に努めた。

昭和63年度からは自主再建へと踏み出したが、交通事業を取りまく環境は厳しく、将来にわたり安定した経営を図るため、利用者のニーズに合ったダイヤ編成や増便をはじめ、電停改良等諸施設の改善、日本で初めて超低床車両を導入するなど、乗客誘致策に取り組んだ。

また、平成14年度には、開業以来70有余年使用してきた大江の車両整備工場を上熊本に移転し、平成19年度には大江局舎を新たに建て替えるなど、施設面での基盤整備を図った。

さらには、熊本市圏のバス網再編の一環として、民間事業者と競合していたバス路線について、平成16年から順次民間事業者へ移譲を始めた。

しかし、社会情勢の変化等により経営は年々悪化し、平成20年度末の資金不足額が55億円、資金不足比率198%に達する状況となった。

このようなことから、平成21年度に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく「経営健全化計画」を策定し、7ヵ年計画の中で、バス事業の民間移譲（平成27年4月に全ての路線移譲を完了し、バス事業を廃止）、定員管理計画の推進、給与水準の見直し、資産の有効活用、利用促進事業の推進（JR熊本駅・新水前寺駅との結節強化や全国相互利用交通系ICカード（でんでんモカ）の導入等）を行うなど、経営の健全化に集中的に取り組んだ結果、資金不足を解消し、経営健全化団体から脱却することができた。

その後の計画として平成28年3月に、平成28年度から平成31年度までの経営基本方針を示す中期経営収支プランを策定し、安全で快適な運行体制を確立することはもとより、更なる経営の合理化や経営基盤の強化に取り組みながら、人や環境にやさしい身近な公共交通機関として、市民や観光客に愛される市電を目指し努力を重ねているところである。

2 軌道事業（大正13年8月1日事業開始）（総務課・電車課）

（1）輸送状況

事項		年度				
		25	26	27	28	29
年間輸送人員（人）		10,895,839	10,876,776	11,030,949	10,709,117	11,093,946
年間走行キロ（km）		1,728,889.7	1,729,611.8	1,731,107.4	1,820,151.6	1,780,149.0
年間延使用車両（両）		13,586	13,998	14,220	13,777	14,158
利用率（％）		4.0	4.0	4.1	4.0	4.1
乗車料収入（円）		1,278,305,323	1,303,314,856	1,406,082,994	1,546,954,715	1,595,378,217
一日平均	輸送人員（人）	29,852	29,799	30,139	29,340	30,394.4
	走行キロ（km）	4,736.7	4,738.7	4,729.8	4,986.7	4,877.1
	延使用車両（両）	37.2	38.4	38.9	37.7	38.8
	乗車料収入（円）	3,502,206	3,570,725.6	3,841,756.8	4,238,232.1	4,370,899.2
一平 日一 車均	輸送人員（人）	802.0	777.0	775.7	777.3	783.6
	走行キロ（km）	127.3	123.6	121.7	132.1	125.7
	乗車料収入（円）	94,089.9	93,107.2	98,880.7	112,285.3	112,683.9
表定速度（km/h）		12.0	12.0	12.0	11.5	11.5
在車 両 籍数	ホキー車（ワソマン）	36	36	36	36	36
	連 接 車	8	9	9	9	9

（注）乗車料収入は消費税相当分を除いて算出

（2）営業路線

年度	項目	路線延長 (km)	単線延長 (km)	複線延長 (km)	営業路線延長 (km)	運転系統 (系統)	停留所数 (カ所)	停留所間距離 (km)		
								最長	最短	平均
平成29年度		11.941	0.127	11.814	12.092	2	35	0.591	0.126	0.356

（3）系統別運輸成績

（平成29年度）

系統	区間	走行キロ (km)	乗車 人員 (千人)	収入 (千円)	費用 (千円)	差引 (千円)	キロ当たり収支			乗車 効率 (%)
							収入 (円)	費用 (円)	差引 (円)	
A系統	健軍町～田崎橋 (9.2km)	1,112,560.0	7,333	1,489,815	1,238,694	251,121	1,339.1	1,113.4	225.7	36.5
B系統	健軍町～上熊本駅前 (9.4km)	667,589.0	3,761	764,066	743,276	20,790	1,144.5	1,113.4	31.1	31.0
計		1,780,149.0	11,094	2,253,881	1,981,970	271,911	1,266.1	1,113.4	152.7	34.5

（注）乗客1人当たり料金収入 定期外147円95銭 定期125円94銭 全体143円81銭

（4）電車運行要領

（平成30年4月1日現在）

項目	運行区間	営業時間	運転方法	時刻表示
A系統	熊本駅前～健軍町 (8.7km) 田崎橋～健軍町 (9.2km)	5:50 - 0:25	ダイヤ運転	終日時刻表示
B系統	上熊本駅前～健軍町 (9.4km)	5:50 - 23:35	ダイヤ運転	終日時刻表示

（5）運賃（平成28年2月1日改定 平成30年3月31日現在）

ア 普通旅客運賃（均一運賃制）

種別	適用	内容
運賃	大人 (中学生以上)	170円
	小児 (小学生以下)	12歳未満の者は大人運賃の半額、6歳未満の幼児は保護者同伴の場合に限りその1人は無料とする
	特殊運賃	身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護人、児童福祉法の規定による諸施設により養護若しくは保護を受けている者及びその付添人、療育手帳の交付を受けている者及びその介護人、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者は各々普通運賃の50%割引 熊本県内に住所を有する65歳以上の者で、道路交通法第104条の4第2項の規定により公安委員会の運転免許を取り消された者に対して発行した免許返納者割引乗車証を有する者は普通運賃の50%割引

イ 団体旅客運賃

種別	適用	内容
団体旅客運賃	大人 (中学生以上)	30人以上の団体で同時に一定の停留場で乗降する場合(12歳以上の団体)
	小児及び特殊	上記の団体で小学生以下の小児及び身体障がい者並びに養護施設児童の団体
団体旅客運賃の割引適用方法		基準となる普通旅客運賃からその運賃の100分の10以内の額を割引した額

ウ 1日乗車券

種	類	運賃	乗車できる範囲
1日乗車券	(区間指定①)	700円	電車の全区間及びバスの指定区間
	(区間指定②)	900円	電車及びバスの全区間
	(県内版)	2,000円	電車及びバスの全区間
市電1日乗車券	(市電全区間)	大人 500円 小児 250円	市電の全区間

※ 市内の観光・文化施設の割引特典付き

※ 1日乗車券(市電1日乗車券を除く)は平成28年3月31日をもって小児券の発売を終了。

エ 定期旅客運賃

種別	期間	割引率	摘要
通勤定期	1カ月	普通運賃を60倍したのから40%割引	持参人式定期券は、当該通勤定期券を持参する者も使用できる
大人通学定期 (中学生以上)	1カ月	普通運賃を60倍したのから50%割引	端数売り1ヵ月定期券は、端数日数59日を限度として発売する 3ヵ月定期券は、端数日数29日を限度として発売する
小児通学定期 (小学生)	1カ月	普通運賃を60倍したのから75%割引	
特殊割引定期	通勤	1カ月 通勤定期券の30%割引	身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護人、児童福祉法の規定による諸施設により養護若しくは保護を受けている者及びその付添人、療育手帳の交付を受けている者及びその介護人、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者に発売する
	通学	1カ月 大人通学定期券の50%割引	
夏休み子ども定期券	通用期間は、熊本市立小中学校の管理運営に関する規則(昭和59年教育委員会規則第6号)第3条第1項第4号に規定する夏季休業日(夏季休業日の前又は後に当該夏季休業日に連続して日曜日、土曜日又は)国民の祝日に関する法律に規定する休日(以下「日曜日等」という。)がある場合は、当該日曜日等を含む。)とし、小学生以下の者に発売額1,000円で発行する。		

※ 各種別の3ヵ月定期は、1ヵ月定期運賃額を3倍したのから5%割引

オ 貸切旅客運賃

大人運賃(円)	小児運賃(円)
12,000	6,000

(6) 超低床電車(LRV)の概要

型式	9700型	0800型
営業開始	平成9年8月	平成21年4月
車両数	2車体連接車5編成	2車体連接車3編成(1編成)
車両製作	株式会社 新潟鐵工所 ADトランス ボンバルディア トランスポーターション	新潟トランス 株式会社
車種	4輪ボギー連接電動客車	4輪ボギー連接電動客車
定員	76人	82人(86人)
車長	18,550mm	18,400mm(18,460mm)
車幅	2,350mm	2,400mm
床高	通路	360mm
	出入口	300mm

※ 0800型()内は、平成26年10月に運行開始した0803号に関する内容

(7) カラー広告電車

種別	規格(mm)縦×横	広告料金 (消費税は含まない)	摘要
電車 車外	広告表示面積合計5.3㎡以内	1ヵ月1車 250,000円	原則としてフィルムを用い、管理者が別に定める基準によるものを用いること

実績

項目	年度				
	25	26	27	28	29
収入(千円)	50,683	56,008	50,075	51,846	58,200

(注) 消費税相当分は除いて算出

3 経営状況（総務課）

（単位 円）

事 項		年 度				
		25	26	27	28	29
軌 道 事 業	総 収 益	2,332,594,975	2,527,773,231	3,730,844,600	2,220,609,009	2,298,101,300
	乗車料収入	1,278,305,323	1,303,314,856	1,406,082,994	1,546,954,715	1,595,378,217
	その他収入	1,054,289,652	1,224,458,375	2,324,761,606	673,654,294	702,723,083
	総 費 用	1,866,600,574	2,121,818,259	2,319,377,542	2,009,372,644	2,040,348,896
	人件費	1,167,877,999	1,308,071,971	1,404,083,398	1,166,190,797	1,150,649,135
	減価償却費	180,218,174	337,492,346	359,036,236	373,937,675	395,628,865
	電力費	65,349,918	71,786,253	70,621,261	64,384,638	64,972,856
	支払利息	26,918,308	38,491,806	40,837,091	27,498,278	25,177,374
	修繕費	149,114,365	89,479,499	123,458,212	125,057,962	129,492,140
	その他	277,121,810	276,496,384	321,341,344	252,303,294	274,428,526
単 年 度 損 益	465,994,401	405,954,972	1,411,467,058	211,236,365	257,752,404	
剰余金又は累積欠損金	△ 2,488,327,050	△ 618,521,343	1,833,320,452	2,044,556,817	465,802,694	
自 動 車 運 送 事 業	総 収 益	1,067,062,050	997,442,946	—	—	—
	乗車料収入	498,841,389	413,889,805	—	—	—
	その他収入	568,220,661	583,553,141	—	—	—
	総 費 用	772,929,810	598,241,687	—	—	—
	人件費	609,905,131	480,091,779	—	—	—
	減価償却費	17,158,235	0	—	—	—
	燃料費	61,270,000	43,232,400	—	—	—
支払利息	3,990,029	3,579,601	—	—	—	
修繕費	19,099,136	15,521,677	—	—	—	
その他	61,507,279	55,816,230	—	—	—	
単 年 度 損 益	294,132,240	399,201,259	—	—	—	
剰余金又は累積欠損金	935,634,210	△ 55,233,790	—	—	—	
計	総 収 益	3,399,657,025	3,525,216,177	3,730,844,600	2,220,609,009	2,298,101,300
	乗車料収入	1,777,146,712	1,717,204,661	1,406,082,994	1,546,954,715	1,595,378,217
	その他収入	1,622,510,313	1,808,011,516	2,324,761,606	673,654,294	702,723,083
	総 費 用	2,639,530,384	2,720,059,946	2,319,377,542	2,009,372,644	2,040,348,896
	人件費	1,777,783,130	1,788,163,750	1,404,083,398	1,166,190,797	1,150,649,135
	減価償却費	197,376,409	337,492,346	359,036,236	373,937,675	395,628,865
	電力費・燃料費	126,619,918	115,018,653	70,621,261	64,384,638	64,972,856
	支払利息	30,908,337	42,071,407	40,837,091	27,498,278	25,177,374
	修繕費	168,213,501	105,001,176	123,458,212	125,057,962	129,492,140
	その他	338,629,089	332,312,614	321,341,344	252,303,294	274,428,526
単 年 度 損 益	760,126,641	805,156,231	1,411,467,058	211,236,365	257,752,404	
剰余金又は累積欠損金	△ 1,552,692,840	※△ 673,755,133	1,833,320,452	2,044,556,817	465,802,694	

（注）消費税相当分を除いて算出

（※）平成26年第3回定例会において、自動車運送事業廃止に伴い資本金の額の減少及び既に除却した固定資産に係る資本剰余金の処分を実施。
 $\triangle 673,755,133\text{円} + 1,042,416,808\text{円} + 53,191,719\text{円} = 421,853,394\text{円}$
 （累積欠損金） （資本金減少額） （資本剰余金処分額） （繰越利益剰余金）

4 職員数（総務課）

（平成30年4月1日現在）

部門・性別 職種別	総務課			電車課			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
特別職	1名		1名				1名		1名
事務職	16名	1名	17名	5名		5名	21名	1名	22名
技術職				30名		30名	30名		30名
運転士				9名		9名	9名		9名
車掌									
その他				21名		21名	21名		21名
計	17名	1名	18名	65名		65名	82名	1名	83名

（注）再任用職員を除く（専従含む）

5 施設（総務課）

（平成30年4月1日現在）

施設 項目	敷地面積	建物面積	開設年月日	配車台数	施設内容
大江庁舎及び電車営業所	2,892㎡	1,631㎡	大13.7.7	14両	事務所・電車営業所・電車車庫
上熊本車両工場及び電車営業所	7,306㎡	2,904㎡	平14.10.14	40両	電車営業所・電車車庫・車両整備工場
上熊本詰所	2,405㎡	497㎡	平19.4.1	—	電車課詰所